

第3号様式（第10条関係）

（文書番号）

平成23年 2月17日

事業実績報告書

幼稚園・保育所名 ドンボスコ保育園

住 所 宮崎市波島二丁目8-36

代表者名 中尾 久美子

印

1 園・所の概要

幼 児 数	3歳以下	4歳	5歳以上	合 計
	51	21	45	117

2 具体的な活動内容

事業内容	実施時期	実施場所	活 動 内 容 (成果、対象者、人数、方法等わかりやすく記載)
プランター菜園	4月～ 8月	園庭・菜園	4歳児…ピーマン・ナス・ミニトマト・オクラ 5歳児…サニーレタス・二十日大根・トマト 6歳児…バケツ苗・トマト・ピーマン・ゴーヤ 順次収穫し、クッキングしたり給食で頂いた。収穫の量は少なかったが職員の工夫で子供達は大変喜んでいて。 6歳児はバケツで育てた米を精米・炊飯し、肉巻き体験の時に塩おにぎりで食べた。
芋の栽培	5月～ 10月	1、職員の畑 2、菜園	芋の植え付けをして、10月に3歳～5歳が出向き、芋ほりをした。その芋は給食で頂いたり、各クラスでクッキング（バター焼き・スイートポテトなど）して楽しんだ。
清掃活動	11月	近所の公園	あおぞらクラブ（高齢者のクラブ）と共に公園の掃除を行った。クラブ員とは日ごろから顔見知りも多く喜んでくださった。

リサイクル活動	年間	園内	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や職員なども巻き込んで、使用済み切手・書き損じ葉書などを収集し、海外の子供達の教育の援助を行った。 ・ペットボトルキャップの収集を通して海外の子供達の医療（ワクチン）に役立てた。子供達には海外の子供達の生活の写真を見せたり話をし、また、「捨てたらゴミ、再利用で資源」となることを伝え、集めたキャップをプールで洗って乾かし、袋詰めする作業も子どもと一緒にいった。
コンポスト体験	11月以降	園内	EM菌の話・土の再生（生態系サイクル）の話をし、それを利用した牛乳パックのコンポストを菜園に設置した。来年の野菜作りの準備をしている。

3 エコ宣言

- 何でも残さずに頂きます。
- 何でも大切に使います。
- 世界のお友だちとも仲良くします。

4 活動を終えて

指導者の感想	<p>担当者からの説明があったとき、従来から行ってきたプランター菜園や芋ほり・クッキングなどの取り組みを活かし、環境教育やリサイクル活動、コンポスト体験などすぐにも出来そうなものを追加してやってみようとして計画した。ペットボトルキャップ収集は、集めた後、洗浄・乾燥・箱詰め・搬送など手間がかかり、かなり煩雑な作業であったがイオンより感謝状が届いたときは、子供達が大喜びで、やっぱりやってよかったと思う。EM菌を使ったコンポスト体験は初めてで、子供や職員に説明する前に自分なりにしっかり勉強して取り組んだ。計画書の中の施設見学だけは、行事の関係で今回取り組むことが出来なかったが、来年は是非取り入れてみたい。</p>
幼児の声	<ul style="list-style-type: none"> ・ どうすれば、もっとたくさんの野菜がとれるかな？ （今年は実付が悪く、やせていた、芋は虫が多く実も小さかった） ・ ペットボトルキャップをいっぱい集めたからお友達（海外の）の病気が治るよね ・ 来年は大きなお芋が出来るよね（コンポスト体験を通して） ・
評価すべき事項	<p>以前から行っていた野菜づくりだが、今年度はエコという視点から学ぶことが多く、子供達が遊びの中で図鑑や絵本などを手にすることが多くなった。（土に関する興味・どうすれば大きく育つかなど）クッキングやコンポスト体験後は野菜の偏食も少なくなり、子供達から家庭への伝達も自然に出来てきて、保護者からも一緒に野菜づくりやクッキングをしたいと好評である。</p>
今後の課題	<p>今年度は園長主体で、年間行事の合間をぬっての取り組みであったが、持続可能な取り組みであるためには、職員全体の意識向上・協力体制も必要になる。来年度は職員に対する研修や意識改善・取り組み園の見学等も入れた方法でさらに前向きに取り組めたら良いと思う。</p>

* 補足資料（写真等）があれば添付してください。